

千葉演習林一般公開への市民ボランティア参加に 関するアンケート調査資料

秋廣敬恵*・山本博一**・斉藤陽子***

Records of Questionnaire on the Roles of Voluntary Staffs during the
Open Days to The University Forest in Chiba

Takae AKIHIRO*, Hirokazu YAMAMOTO** and Yoko SAITO***

I. はじめに

千葉演習林では1996年以降、毎年11月下旬から12月上旬にかけて、紅葉の美しい猪ノ川林道を中心に一般公開を行ってきた。多くの訪問者からは紅葉に対する良い感想とともに新緑時の公開や公開区間の拡大を期待する声が寄せられていた。しかし公開中は、公開区間の案内や説明に加え、訪問者に対し、研究目的で立入制限している箇所や危険箇所を指示する必要がある。これまで千葉演習林では、職員が一般公開中の案内および安全管理を担ってきたが、公開区間や公開期間の拡大は職員の負担増加につながるため、要望に応えることが困難であった。そこで、公開中の訪問者に対する案内・マナーの呼びかけ・安全管理を補助する目的で、千葉県内の市民ボランティア団体に協力を要請し、2000年4月22日(土)と23日(日)、春の一般公開を初めて実施した。

千葉演習林において、演習林一般公開に市民ボランティアが参加したのもまた初の試みである。そこで演習林側と市民ボランティア側との間で、演習林一般公開やボランティア参加に対する認識や意見にどのような違いがあるか、また公開実施前後で両者にどのような意識や意見の変化が起こるかを調べるために、アンケート調査を実施した。

* 東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻
Department of Forest Science, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo.

** 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林
University Forest in Chiba, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo.

*** 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所
Arboricultural Research Institute, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo.

アンケート調査の集計結果を用いた全体的な考察は、既に引用文献(1)において行っているため、本稿ではアンケート調査に関する詳細な資料を報告する。

II. 2000年4月の千葉演習林一般公開について

今回の一般公開で、千葉演習林が協力を求めることになった市民ボランティア団体は二つある。一つは、国家資格である森林インストラクターの組織である「千葉県森林インストラクター会」(1994年結成・2000年現在の会員数38名)である。普段の活動として、月2回の室内講座、隔月1回自然観察などの野外講座等を行っている。なお、同会はこれまでに、千葉演習林においても一般市民を対象にした野外講座(名称「千葉県森林インストラクター会野外講座」)を開催した経験を持っている。もう一つは、千葉県緑化推進委員会が運営する「千葉県みどりのボランティア」(1996年事業開始・延べ登録者数573名・2000年度の作業可能人数203名)である。

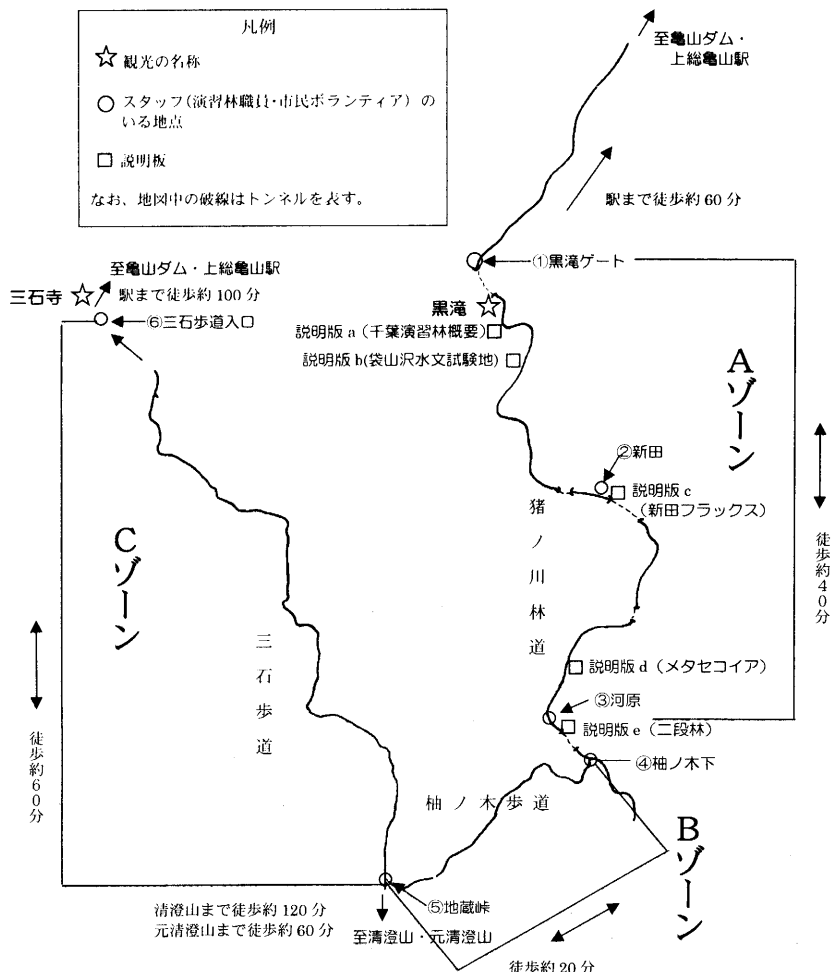


図-1 2000年春の千葉演習林一般公開区間

中心的な活動内容は、県内の公共の森や県へ申請があった林業家の森林などで行う下草刈りや枝打ちといった手入れ作業である。なお、同団体は、研修を受けた登録者に対し、千葉県緑化推進委員会が作業への参加者を毎回募集する方式を採っている。

一般公開に先立ち、千葉演習林は4月8日(土)、従事する予定のボランティアに対し、事前の説明会と現地見学とを行った。ボランティアに協力を要請した主な作業内容は、ゲートでの訪問者のカウントや記帳、ビラの配布、マナーの呼びかけ、および公開コースの巡回である。各ボランティアは図-1に示す公開区間のうち、それぞれ担当するゾーン内で職員と協力して作業を行った。このうち年齢などの点から、AゾーンとBゾーンにはみどりのボランティアが、Cゾーンには森林インストラクター会が配置された。作業時間は午前9時から午後4時までである。

演習林側の準備としては、公開コースの整備、地方紙および一般紙での広告、案内のビラや掲示板の作成などの他、事前研修会や当日の送迎、昼食配給などボランティアに対する内容も含まれている。

本公開では、新たに柚の木歩道と三石歩道が公開され(図-1)、新緑を楽しめるコースが設定された。訪問者数は2日間で468名、従事した延べ人員数は市民ボランティア2団体が47名、演習林職員が16名であった。

III. 調査方法および解析方法

1. 調査方法

2000年4月22日および23日の一般公開に従事した森林インストラクター会11名、みどりのボランティア24名、演習林職員12名を対象に自由回答を中心とするアンケート調査を行った。

公開実施前後で市民ボランティア参加に対する意識の変化があるかどうかを確かめるため、事前・事後の2回にわたってアンケートを行った。その際、前後の変化を比較できるように同じ項目に関する設問を多くした。設問の内容は大きく分けると以下のとおりである。

- ① 千葉演習林一般公開に対する認識や見解(情報源、どう思うか)
- ② ボランティア参加に関するもの(参加動機、仕事内容、参加に対する意見など)
- ③ 演習林の取り組み(演習林職員は今回の企画)に対する評価・意見

なお、アンケートで使用した質問票は付録資料に掲載したので、参照されたい。また補足的な調査として、4月22日に参加した24名のボランティアから、当日の交通手段と所要時間、普段の活動内容、作業中に気づいたことなどについて聞き取り調査を行った。

2. 解析方法

アンケートの集計方法のうち、自由回答に関しては、キーワードによる分類・集計を行った。

まず、設問ごとに得られた自由回答を読み、キーワードを抽出し、さらに類似したものを統合してキーワードグループを作成し、キーワードグループごとに集計するという方法を行った。例えば、「どのような形で千葉演習林一般公開を知ったか」（市民ボランティアに対する事前調査）という設問に対しては、回答の中から「広報きみつ」、「房総ファミリア」、「千葉の山案内本」などのキーワードが得られたが、これらをより大きな分類である『新聞・雑誌』というキーワードグループに統合して集計した。後述する自由回答の集計表（表-1～24）における項目名はすべてキーワードグループ名である。

一人の回答者から得られた回答は基本的に複数のキーワードグループに分化されている。また、抽出したキーワードのうち、多くの要素を持っているため一つのキーワードグループに帰属させることが困難な場合は、複数のキーワードグループに所属させた。

IV. 集計結果

1. 回答者の属性に関する集計結果

本調査で得られた回答数は、事前アンケートではみどりのボランティア 23 名（回答率 95.8%）、演習林職員 12 名（100.0%）である。事前アンケートでは回答用紙を郵送し公開当日に回収したが、森林インストラクター会からの参加者の住所を入手できなかったため、同会員に対する事前調査は行わなかった。

一方、事後アンケートではみどりのボランティア 23 名（95.8%）、森林インストラクター会 10 名（90.9%）、演習林職員 10 名（83.3%）から回答を得ることができた。

A. 回答者の年齢・性別（図-2）

年齢に関しては、森林インストラクター会では 30 歳代から 70 歳代まで比較的幅広い年齢層に分布しているのに対し、みどりのボランティアでは 50 歳代から 60 歳代の参加者が多い。一方、演習林職員は 20 歳代から 30 歳代がほとんどであった。

回答者のうち女性は、みどりのボランティアが 6 名（26.1%）、森林インストラクター会が 2 名（20.0%）で、演習林職員は全員男性であった。

B. ボランティアの居住地（図-3）

回答者のうち、ボランティア 33 名の居住地は、千葉市 9 名、船橋市 3 名を含む千葉県中央部が計 27 名（81.8%）であり、千葉演習林に比較的近い君津市など県南部は 4 名（12.1%）にとどまっている。当日の聞き取り調査でも車や電車で 2 時間から 3 時間かけて演習林まで来たという回答者が多かった。

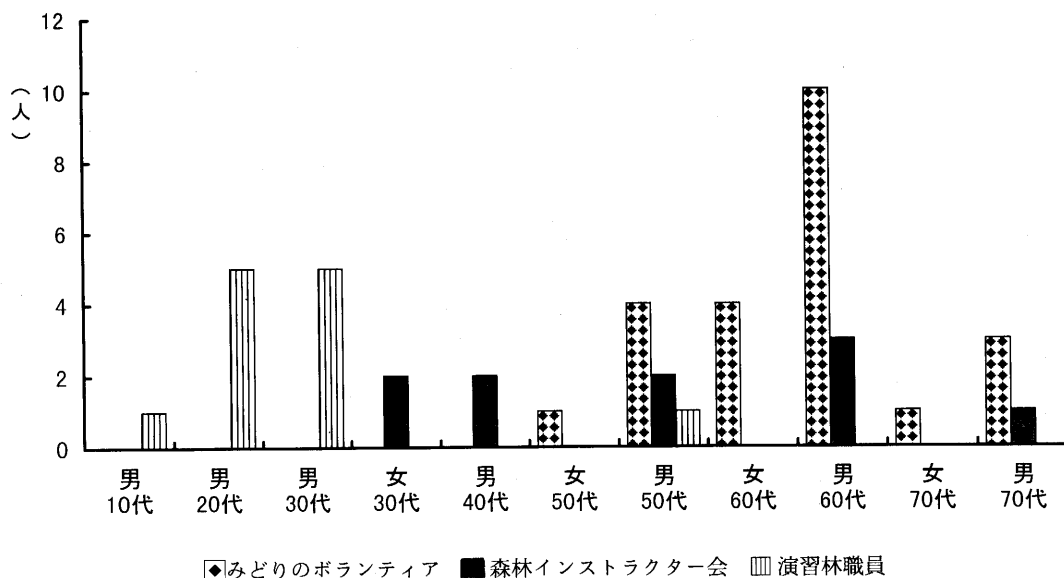


図-2 回答者の年齢・性別

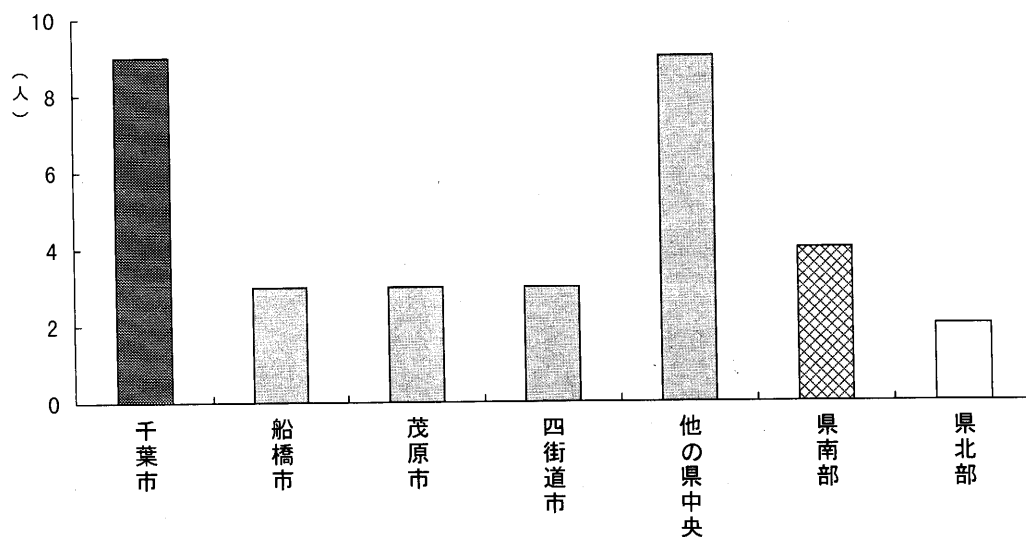


図-3 ボランティア参加者の居住地

2. 事前アンケートの集計結果

A. 千葉演習林一般公開を知っているかどうかについて

事前調査を行ったみどりのボランティアのうち、8名(34.8%)がボランティア参加以前から千葉演習林一般公開について知っていると答えた。その情報源(表-1)としては「新聞・雑誌」(6件)が最も多かった。しかし、「知人・友人の話」(4件)、「緑化推進委員会からの連絡」(3件)、「以前きたことがある」(2件)の合計は9件であり、マスコミによらない情報源がマスコミを上回っている。

表-1 どのような形で千葉演習林一般公開を知ったか
(みどりのボランティア・事前アンケート問2より)

新聞・雑誌	6
知人・友人	4
県緑化推進委員会	3
以前演習林に来たことがある	2
合 計	15

表-2 今回ボランティアに参加しようと思った理由
(みどりのボランティア・事前アンケート問4より)

千葉演習林に関心	15
研修・学習のため	8
ボランティア意識から ¹⁾	7
その他 ²⁾	6
自然が好きだから	5
交通の便がよい	2
仕事の内容に興味があった	1
合 計	44

¹⁾ 公開に対するお手伝いがしたい・自然の大切さを伝えたい・一般の人々のマナーを確認したかったなど。

²⁾ 山林を所有し関心があった・退職後樹木について勉強中のため関心があった・普段は植林作業が多いので新鮮など。

表-3 演習林が一般公開されることについてどう思うか
(みどりのボランティア・事前アンケート問3より)

大変良い・ありがたい ¹⁾	11
よいと思う ¹⁾	4
演習林を知るために良い	3
森林・環境教育に効果がある	3
推進してほしい	2
研究への悪影響は心配	2
市民の健康のためによい	1
演習林公開は市民に対する好対応	1
演習林は貴重な自然	1
公開回数を増やせるとよい	1
研究熱心な市民への公開は良い	1
合 計	30

¹⁾ 「大変良い・ありがたい」は演習林一般公開を高く評価する意見や「推進してほしい」などと合わせて述べられていたのに対し、「よいと思う」は漠然と良い、条件付きでよい、問題点を同時に指摘する意見などとして述べられていた。

B. 今回のボランティアに参加しようと思った理由 (表-2)

「千葉演習林に関心があった」(15件)が最も多く、次いで「研修・学習のため」(8件)、「ボランティア意識から」(7件)が続いている。

C. 演習林が一般公開されることについてどう思うか

みどりのボランティア(表-3)、演習林職員(表-4)とも「よいと思う」、「演習林を知るために

表-4 演習林が一般公開されることについてどう思うか
(演習林職員・事前アンケート問1より)

演習林を知ってもらいたい機会	9
よいと思う	8
公開回数が増えるのはよい	2
職員の負担が増える	2
不法採取が心配	2
大変・非常によい	1
基本的には賛成	1
その他の心配 ¹⁾	1
合計	26

¹⁾ 中には演習林を観光地だと誤解して来る訪問者がいるので対応に困るとの意見。

表-5 今回のボランティアの作業内容についてどう思うか
(みどりのボランティア・事前アンケート問5より)

適当である	4
この程度でよい	3
初回はこれでよい ¹⁾	3
もう少し内容の濃い案内をしたい	3
楽しみにしている	3
初めてなのでわからない	3
能力的には難しくない	2
経験を重ねて案内のレベルを向上したい	2
トイレがほしい・トイレが心配	2
特にない	2
よいと思う	1
研究を妨げないため適切	1
事故対策として適切	1
当日の訪問者への対応方法が不十分	1
うまく出来るか心配	1
事前研修があって良かった	1
合計	33

¹⁾ 初回はこれでよいが、経験を重ねて案内のレベルを向上させたいと同時に指摘する意見が2件あった。

良い」が上位を占め、自然学習の場として演習林の一般公開に賛同している点で一致している。また「推進してほしい」(みどりのボランティア2件)、「公開回数が増やせるとよい」(みどりのボランティア1件)、「公開回数が増えるのはよい」(演習林職員2件)とみどりのボランティア・演習林職員双方に一般公開の促進に肯定的な意見が見られた。しかし、みどりのボランティアからは研究への悪影響、職員からは不法採取および職員の負担などの懸念も見られた。

D. ボランティアの仕事内容について

みどりのボランティア(表-5)、演習林職員(表-6)双方とも「適当である」がもっとも多く、「この程度でよい」(みどりのボランティア3件)、「能力的に難しくない」(みどりのボランティア2件)、「職員とともに作業するのでよい」(演習林職員3件)といった妥当であるとする意見が見

表-6 ボランティアの作業内容についてどう思うか
(演習林職員・事前アンケート問2より)

適当である	6
職員とともに作業するのでよい	3
ボランティアの能力に期待 ¹⁾	2
大変だと思う	2
ボランティアの能力に不安 ²⁾	1
わからない	1
開始時間・宿泊を検討すべき	1
合 計	16

¹⁾ 市民ボランティアには植物の知識が豊富な方が多く案内役に適している・数年従事してもらい、慣れてきたら仕事量を増やしても良いという意見。

²⁾ ボランティアがどこまで演習林を理解して説明できるか少し不安であるという意見。

表-7 一般公開に市民ボランティアが参加することをどう思うか
(みどりのボランティア・事前アンケート問6より)

大変良い ¹⁾	7
よいと思う ¹⁾	5
人手不足を補い、協力することは良い	4
森林・環境教育に効果	3
続けてほしい	2
多くの人に参加してもらいたい ²⁾	2
演習林を知る良い機会	2
市民のボランティア参加は良い ³⁾	2
森林に理解・関心のある市民が参加するのは良い	2
事前教育によりボランティアの質を向上すると良い	2
ボランティアの学習・活動の場として期待	2
心配なことがある ⁴⁾	2
希望者が参加するのは良い	1
一般利用者の視点に立つことが出来る	1
わからない	1
合 計	38

¹⁾ 表-3 と同様の観点から区別した。

²⁾ ボランティアに参加することによって知識が身につく他のボランティア活動にも役立つので、多くの人が参加すると良いなど。

³⁾ 2件とも一般論として市民のボランティア参加はよいとする意見。

⁴⁾ 不心得者には厳しく指導すべき・ボランティアの演習林研究に対する認識不足が誤解を生む危険を心配するという意見。

られる。一方、みどりのボランティアの中には、「初回はこれでよい」(3件)が訪問者へのマナーの呼び掛けだけでなく自然解説など「もう少し内容の濃い案内をしたい」(3件)、「経験を重ねて案内のレベルを向上したい」(2件)とする意見が8件見られた。

E. 一般公開に市民ボランティアが参加することをどう思うか

みどりのボランティア(表-7)、演習林職員(表-8)双方とも職員の人手不足を補うとともに、市民の学習・教育に与える効果を期待している点では共通している。しかし、同じ学習効果につ

表-8 一般公開に市民ボランティアが参加することをどう思うか
(演習林職員・事前アンケート問3より)

演習林の理解・普及に役立つ	6
良いと思う	3
人手確保のためによい	3
非常に助かる	2
本来は職員のみで行いたい	2
広くボランティアを募る方がよい	1
事故への対応が必要 ¹⁾	1
やりにくい面もある ²⁾	1
合 計	19

¹⁾ 林内整備・事故に対する対応などの安全対策が課題という意見。

²⁾ 今まで職員や学生だけでやっていた時とは違い、やりにくい面もあるかもしれないという意見。

表-9 演習林の事前の取り組みについてどう思うか
(みどりのボランティア・事前アンケート問7より)

事前の研修がよかった	6
よく準備されていた	4
もう少し広報してほしい ¹⁾	4
初めてなのでわからない	4
よい・適切である	3
ありがたい	3
大変良い	2
大変だったと思う	2
特に問題はない	2
ボランティアの募集方法がよい ²⁾	1
広報でも協力したい	1
訪問者のための施設・整備が必要	1
日程的な時間がほしい	1
事前の研修に不満足 ³⁾	1
初めてで戸惑いがある	1
合 計	36

¹⁾ あらゆるマスコミを使い一般公開のPRを徹底してほしい・市民に十分浸透していないのでは、など。

²⁾ 基礎教育が行われている「千葉県みどりのボランティア」に募集をしたのはよいという意見。

³⁾ 半日ではなく一日かけて全コースを歩き、知見を得たかったという意見。

いても演習林職員では「演習林の理解・普及に役立つ」(6件)が多かったのに対し、みどりのボランティアでは「ボランティアの学習・活動の場として期待」(2件)、「事前教育によりボランティアの質を向上するとよい」(2件)といったボランティア活動を念頭においた学習を意味する意見が見られた。一方、演習林職員の中には「本来は職員のみで行いたい」(2件)、「やりにくい面もある」(1件)など市民ボランティアの参加に対する戸惑いの意見も見られる。

F. 演習林の事前の取り組みに対する意見

みどりのボランティア(表-9)では「事前の研修がよかった」(6件)、「よく準備されていた」

(4件)など肯定的評価が21件(58.3%)見られる。しかし「初めてなのでわからない」(4件),「もう少し広報してほしい」(4件)という情報不足を訴える意見や,「事前の研修に不満足」(1件),「日程的な時間がほしい」(1件),「訪問者のための施設・整備が必要」(1件)という学習者および利用者の視点からの意見も同時に見られた。一方,演習林職員(表-10)でも「事前の準備が良かった」(3件),「十分である」(2件)など肯定的意見が全体の半数である7件を占めた。その反面,「手間がかかりすぎるのは問題」(2件),「準備が大変だった」(2件)という労力に関する

表-10 演習林の事前の取り組みについてどう思うか
(演習林職員・事前アンケート問4より)

事前の準備が良かった	3
ミーティングがあった方がよい ¹⁾	2
手間がかかりすぎるのは問題 ²⁾	2
準備が大変だった	2
十分である	2
広報したのはよい	2
電話での対応を徹底すべき ³⁾	1
合 計	14

¹⁾ もう少し詳細のミーティングがあるとよい・当日職員とボランティアとの顔合わせがある方が円滑に進むのではという意見。

²⁾ 今後は簡略化すべき・演習林の業務とは直接関係しないのであまり手間がかかりすぎるのは問題という意見。

³⁾ 電話による一般市民からの問い合わせの際,対応の仕方を徹底する必要があるという意見。

表-11 演習林に対する意見・要望
(みどりのボランティア・事前アンケート問8より)

一般公開を推進してほしい	5
トイレなどがほしい	5
演習林における広範なボランティア活動がしたい ¹⁾	4
市民のため役に立ててほしい	3
より充実した研修を ²⁾	3
演習林は素晴らしい自然 ³⁾	3
名札・掲示板等がほしい	2
協力したい	2
演習林の業務に配慮 ⁴⁾	2
特にない	2
公開区間・期間を拡大してほしい	1
初めてなのでわからない	1
合 計	33

¹⁾ 一般公開以外の森林に関するボランティアにも門戸を開いて欲しい・市民ボランティアが演習林での作業に日常的に参加し林業などに関する知識を身につけていけば,一般公開の時に役立つとともに演習林普及にもつながると思うなどの意見があった。

²⁾ 研修会で公開コースの植物の名前なども教えてもらえると訪問者に説明ができるので良い・単発的な研修ではなく,定期的な研修を望むなどの意見。

³⁾ 千葉県内にこんなに素晴らしい自然が残されているとは思わなかった・この素晴らしい渓谷を多くの人々と享受したいなどの意見。

⁴⁾ 本来の業務で制約されていると思うが今後も一般公開を促進してほしい・専門的なことにはタッチできないし踏み込んでほしくないと思っているという意見。

表-12 今回の企画全体を通しての意見
(演習林職員・事前アンケート問5より)

事故への対応が不十分 ¹⁾	3
大変良い企画・運営	1
新鮮な企画	1
公開期間・区間を拡大したのはよい	1
今後も続けたい	1
電話での対応などの問題	1
早期に具体的な説明がほしい	1
スタッフの少数化	1
学生にもボランティアを ²⁾	1
特にない	1
合 計	12

¹⁾ 歩行不能などの事故への対応が不十分・林内整備が遅れ、危険な箇所があるためルート変更が必要などの意見。

²⁾ 演習林を利用している学生にもボランティア参加してもらえば演習林への理解が深まるとともに演習林にとって試験地の説明に良い戦力となるという意見。

る意見、「ミーティングがあった方がよい」(2件)、「電話での対応を徹底すべき」(1件)など業務の円滑な運営に関する意見が見られた。

G. 演習林(今回の企画)に対する意見・要望

まず演習林に対するみどりのボランティアの意見(表-11)では「一般公開を推進してほしい」(5件)、「公開区間・期間を拡大してほしい」(1件)など一般公開そのものの促進に対する要望に加え、「演習林で広範なボランティア活動がしたい」(4件)、「市民のため役立ててほしい」(3件)という市民およびボランティア活動の場の提供や学習に関する要望が多かった。これに対し、今回の企画に対する演習林職員の意見(表-12)では「事故への対応が不十分」(3件)といった安全対策など事務的な観点からの意見が多かった。一方、「今後も続けたい」(演習林職員1件)、「新鮮な企画」(演習林職員1件)、「協力したい」(みどりのボランティア2件)という前向きな意見が演習林職員およびボランティアの双方に見られた。

3. 自由回答の結果(事後アンケート)

A. 今回の一般公開は良かったかどうかについて

「はい」と答えたのがみどりのボランティアでは22名(95.7%)、森林インストラクター会では10名(100.0%)、演習林職員では9名(90.0%)であった。

その理由として(表-13, 14)、いずれも「演習林を知ってもらえた」(演習林職員4件)、「訪問者への教育的効果」(みどりのボランティア6件、森林インストラクター会4件)に加え、訪問者から感謝された、訪問者が喜んでいたなど「訪問者からのよい反響」(みどりのボランティア7件、森林インストラクター会4件、演習林職員3件)が大きな割合を占めている。また、みどり

表-13 「今回の一般公開は良かったと思うか」に対する回答の理由
(市民ボランティア・事後アンケート問2より)

	みどりのボランティア	森林インストラクター会	合計
訪問者からのよい反響	7	4	11
訪問者への教育的効果	6	4	10
ボランティアの効果 ¹⁾	6	2	8
普段入れない貴重な自然なので	6	2	8
自ら一般公開を満喫	6	1	7
自ら演習林を理解できた	6	0	6
秋と違ってよかった	2	4	6
人的交流・相互学習 ²⁾	3	2	5
初めてなのでよかった	3	0	3
演習林が荒らされないか心配 ³⁾	2	0	2
公開参加者が少なかった	1	0	1
知らないのではわからない ⁴⁾	1	0	1
合計	49	19	68

¹⁾ 案内役として訪問者の演習林や自然に対する認識に役立った・道に迷うことなく安心して新緑を楽しんでもらえたなどの意見。

²⁾ 一般の訪問者・職員・ボランティアとの触れあいの中で共感できた・お互いに啓発された・訪問者に喜んでもらい自分も嬉しかったなどの意見。

³⁾ 一般公開は良いが反面支障があるなら非公開とすべき・一般の訪問者はすぐ指定場所以外の所に足を踏み入れてしまうとの意見。

⁴⁾ 個人的には初めての体験で良かったと思うが、秋の公開について知らないので評価できないとの意見。

表-14 「今回の一般公開は良かったと思うか」に対する回答の理由
(演習林職員・事後アンケート問2より)

演習林を知ってもらえた	4
訪問者からのよい反響	3
秋と違ってよかった	1
新鮮なやり方でよい	1
期間が短くてよい	1
公開参加者数が少なかった	1
訪問者からのよくない反響 ¹⁾	1
合計	12

¹⁾ 訪問者があまり喜んでいないように思えたとの意見。

のボランティアの中には「自ら一般公開を満喫」(6件)できた、「自ら演習林を理解できた」(6件)等の自己充足を良かった理由に挙げている意見が多かった。

B. ガイド役を体験してみてどう思ったか (表-15)

マナーの良さなど「訪問者の意識の高さを感じた」(みどりのボランティア6件, 森林インストラクター会6件), 新緑の中で楽しめた・勉強になったなど「ボランティアが得た満足感」(みどりのボランティア5件, 森林インストラクター会5件), 「役に立った」(みどりのボランティア6件, 森林インストラクター会3件)が多かった。また, みどりのボランティアでは「知識の向上が必要」(11件)が非常に多かったのに対し, 森林インストラクター会では訪問者の足場などを不安に思う「心配・懸念」(3件)および「その他訪問者について」(4件)が比較的多かった。

表-15 訪問者への案内などを体験してどう思ったか
(市民ボランティア・事後アンケート問3より)

	みどりのボランティア	森林インストラクター会	合計
訪問者の意識の高さを感じた ¹⁾	6	6	12
知識の向上が必要 ²⁾	11	0	11
ボランティアが得た満足感 ³⁾	5	5	10
役に立った	6	3	9
要望・提案がある ⁴⁾	5	1	6
その他訪問者について ⁵⁾	1	4	5
指示どおりの作業を行った	3	2	5
心配・懸念	1	3	4
訪問者が様々だった	2	0	2
訪問者からの要望 ⁶⁾	2	0	2
特に問題ない	2	0	2
合計	44	24	68

- 1) マナーの高さを感じた・緑に対する関心が高い・服装もしっかりしている等の意見。
 2) 樹木などの質問で答えられないものがあつた・樹木についての事前研修・地層などの説明が出来るとうい・森林維持活動とインストラクター的能力の両方が備わって満足できる仕事等の意見。
 3) 多くの訪問者に感謝され満足感や充実感を味わつた・訪問者に対しほつとした・気持ちよかつた・どこかで心が結びついているように感じ山の楽しみ方が増えた等の意見。
 4) ガイドに重点を置けば訪問者に喜ばれるとともに森林に対する理解も深まる・当日だけゲート前にゴミ箱を設置(缶投げ捨てるを避けるため)・事前の広報で訪問者に足回り注意を喚起する・担当以外の区間も経験したかつた等の意見。
 5) 中高年の方が多く何故若者に関心がないのか疑問・Cゾーンでは足下のよろよろしていた人がいたなどの意見。
 6) 新緑時期の公開を喜び続けてほしいという訪問者がいた・4割の訪問者が地蔵峠から三石観音への変化に富んだコースを望んでいたとの意見。

表-16 ボランティアによる案内等を見てどう思ったか
(演習林職員・事後アンケート問3より)

よくやっていた ¹⁾	6
見ていないのでわからない ²⁾	3
ありがたい	2
植物の知識があつて良い	2
自らも勉強になつた	2
職員とちがつてよい	1
もう少し積極的にガイドを ³⁾	1
合計	17

- 1) 親切な対応だつた・的確な説明をしていた・頑張つていた等の意見。
 2) 担当場所から動けなかつたのでよくわからなかつた・現場を見ていないのでわからない等の意見。
 3) ボランティアが楽しむ主体になるのではなくもう少し案内や説明に積極性があつてもよいのではと思つたとの意見。

C. ボランティアによるガイドを見てどう思ったか (表-16)

「よくやっていた」(6件)に加え、「自らも勉強になつた」(2件),「植物の知識があつて良い」(2件)などボランティアと演習林職員との相互学習・相互理解およびボランティアの能力を認める意見が見られる。

D. 実施してみて一般公開に市民ボランティアが参加することをどう思うか

市民ボランティア（表-17）・演習林職員（表-18）双方に「職員だけでは大変」（みどりのボランティア7件，森林インストラクター会3件），「人手確保・人材活用のため」（演習林職員2件）など人員上の理由で賛成する意見が見られる。しかしその一方で「職員と違って良い」（みどりのボランティア3件，森林インストラクター会2件，演習林職員2件），「人的交流・相互学習のため」（演習林職員2件）など事前調査にない新たな認識がボランティア・職員双方に見られた。ま

表-17 一般公開に市民ボランティアが参加することをどう思うか
（市民ボランティア・事後アンケート問4より）

	みどりのボランティア	森林インストラクター会	合計
よいと思う	9	1	10
職員だけでは大変	7	3	10
大変・非常によい	4	3	7
ボランティア自身のためになる	6	1	7
もっとボランティアの活用を ¹⁾	5	1	6
職員とは違った良さがある ²⁾	3	2	5
その他の効果 ³⁾	1	4	5
推進して裕しい	3	0	3
協力したい	2	1	3
ボランティアの持つ経験・知識	2	1	3
研修の必要性	3	0	3
ボランティアではなくてもよい ⁴⁾	0	2	2
良否は演習林が決めるべき	1	0	1
わからない	0	1	1
合計	46	20	66

¹⁾ 人材の活用という点で非常によい・ここへ行けば植物に詳しい人がいますという対応が出来るとより良い・日本野鳥の会にも協力を求めては等の意見。

²⁾ 訪問者と同じ目の高さで対応できる・訪問者と親しくゆったりと接する人間がいることも大切・職員が知らないことを知っているボランティアもいる等の意見。

³⁾ 他の団体との接触を持てて良かった・ボランティア受け入れは大学の積極的な姿勢の表れと思う等の意見。

⁴⁾ 学生に任せても良いのではとも思う・今回程度の人数であれば職員で十分との意見。

表-18 一般公開に市民ボランティアが参加することをどう思うか
（演習林職員・事後アンケート問4より）

よいと思う	4
職員と違って良い	2
人手確保・人材活用のため	2
人的交流・相互学習のため ¹⁾	2
大変よい・推進してよい	1
公開の目的を明らかにすべき ²⁾	1
ボランティアは一つの方法 ²⁾	1
合計	13

¹⁾ 互いの情報交換として勉強になる・植物に関する知識では自分も勉強になったとの意見。

²⁾ この2項目は同時に回答されており，「市民にサービスとして公開するならボランティアも一つの方法だが，研究目的での公開なら演習林職員の積極的な関わりが必要」との意見。

た、少数ではあるが今回程度の人数であれば職員でも十分など「ボランティアでなくてもよい」(森林インストラクター会2件)、「ボランティアは一つの方法」であり「公開の目的を明らかにすべき」だ(ともに演習林職員各1件)という意見も見られた。

E. 次回も参加したいかどうかについて

「はい」と答えたのがみどりのボランティアでは21名(91.3%)、森林インストラクター会では10名(100.0%)であった。参加したい理由(表-19(1))として、「自ら楽しめる・自然を満喫」(みどりのボランティア10件、森林インストラクター会5件)、「役に立ちたい・社会貢献」(みどりのボランティア9件、森林インストラクター会5件)、「自身の学習のため」(みどりのボランティア7件、森林インストラクター会3件)が多かった。またこの項目でも「人的交流・相互学習」、「多くの人と自然を共感」などふれあいの場として一般公開を捉える意見も見られた。一方参加に否定的な理由(表-19(2))として、この次は個人的に自由に山歩きを楽しみたいので「参加したくない」、遠すぎるなど「参加条件の悪さ」が見られた。

F. 次回も市民ボランティア参加を推進したいかどうかについて

これは演習林職員に対する質問で、「はい」と答えたのが8名(80.0%)、「いいえ」が1名(10.0%)、「わからない」が1名(10.0%)であった。

表-19(1)~(2) 「次回も参加したいと思うか」に対する回答の理由
(市民ボランティア・事後アンケート問6より)

(2) 肯定の理由	みどりのボランティア	森林インストラクター会	合計
自ら楽しめる・自然を満喫	10	5	15
役に立ちたい・社会貢献	9	5	14
自身の学習のため	7	3	10
人的交流・相互学習	5	3	8
多くの人と自然を共感	5	2	7
普段の活動との関連 ¹⁾	1	4	5
房総の自然だから ²⁾	2	2	4
健康のため	2	1	3
参加条件が良い ³⁾	3	0	3
合計	44	25	69

¹⁾ 以前演習林を幾度か利用した経験がある・森林インストラクターとして活動の場が増える・自分の資質・知識を生かしたい等の意見。

²⁾ 房総の素晴らしい自然の中でその保護に協力したい・演習林は千葉県内で稀有の森林などの意見。

³⁾ 作業中の時間に余裕があり常に二人一組でボランティア同士の交流が出来る・交通の便が比較的良好(送迎バスの存在)・この程度の作業ならば私でも出来るとの意見。

(2) 否定などの理由	みどりのボランティア	森林インストラクター会	合計
参加条件の悪さ ¹⁾	1	0	1
参加したくない理由 ²⁾	1	0	1
合計	2	0	2

¹⁾ 交通が不安定であり遠方なのでという意見。

²⁾ 次は個人的に山歩きを楽しみたいという理由。

表-20 「次回も推進したいと思うか」に対する回答の理由
(演習林職員・事後アンケート問6より)

(1) 肯定の理由	
人手の確保のため	3
公開の質の向上のため ¹⁾	3
ボランティアの能力の高さ	3
ボランティアへの教育効果がある	1
職員の負担軽減のため	1
合 計	11
¹⁾ 職員だけでは人手が足りず良い公開方法が実施できないので・ボランティアが継続的に参加することで演習林に対する理解が深まり一般市民への対応も向上すると思う等の意見。	
(2) 否定などの理由	
かえって職員の負担になる ¹⁾	1
公開目的を明らかにすべき	1
合 計	2
¹⁾ ボランティアに対する世話のため職員の負担がかえって増えるので人数を減らすべきとの意見。	

推進したい理由(表-20(1))として、「ボランティアの能力の高さ」(3件)、「公開の質を高めるため」(3件)、「人手の確保のため」(3件)が挙げられている。一方、推進に否定的な理由(表-20(2))として、ボランティアの送迎や昼食の準備など「かえって職員の負担になる」(1件)が挙げられた。

G. 実施してみて、今回の一般公開に対する演習林の取り組みについてどう思うか(表-21,22)

事前アンケートと同様に「よく準備されていた」(みどりのボランティア4件, 森林インストラクター会3件, 演習林職員3件)、「大変よい」(みどりのボランティア4件, 森林インストラクター会2件)などが多かった。加えて市民ボランティアからは「ご苦労さま・ありがとう」(2団体計5件)、「職員が親切・熱心だった」(2団体計4件)、演習林職員からは「ボランティアのおかげでやりやすかった」(1件)といった相互に感謝する意見が見られる。その上でみどりのボランティアからはもっと「広報した方がよい」(4件)、「公開期間・区間を拡大してほしい」(3件)などの要望, 森林インストラクターからは「もう少し手を抜いてはどうか」(2件)という提案や「今後に期待」(2件)という意見が見られた。

H. 演習林(今回の企画)に対する意見・要望

まず市民ボランティアの意見および要望(表-23)については、みどりのボランティアからは「ボランティアの機会拡大」(6件)を望む意見がもっとも多く、今後一般公開を継続・推進していく中で「自然観察のガイド」(3件)、「公開期間・区間の拡大」(2件)、「ボランティア研修の充実・改善」(3件)などの実現を求める意見が多く見られた。また「トイレがほしい」(4件)や

表-21 実施してみて、一般公開への演習林の取り組みについてどう思うか
(市民ボランティア・事後アンケート問7より)

	みどりのボランティア	森林インストラクター会	合計
よく準備されていた	4	3	7
大変よい	4	2	6
よいと思う	4	1	5
ご苦労様・ありがとう	3	2	5
案内板・掲示板・ビラ・名札がよかった	5	0	5
その他気になったこと ¹⁾	4	1	5
職員が親切・熱心だった	2	2	4
市民からの期待・評価	4	0	4
広報した方がよい	4	0	4
公開期間・区間を拡大してほしい	3	0	3
今後を期待	0	2	2
トイレなどがほしい	2	0	2
もう少し手を抜いてはどうか	0	2	2
休憩所などの設定がよかった	1	0	1
事前研修がよかった	1	0	1
安全対策がよかった	1	0	1
もう少し樹木の名札を	1	0	1
交通アクセスの改善が必要	1	0	1
公開地区の研究紹介がほしい	1	0	1
自然解説を取り入れてほしい	0	1	1
合 計	45	16	61

¹⁾ あまり技巧的でなく自然の状態がよい・受付での威圧感があった・飲食区域・歩行区域に制限がありリラックスできなかったなどの意見。

表-22 実施してみて、一般公開に対する演習林の取り組みについてどう思うか
(演習林職員・事後アンケート問7より)

よく準備・計画されていた	3
よく頑張った・努力した	2
よかったと思う	1
これまでの一般公開の経験が活かされた	1
ボランティアのおかげでやりやすかった	1
当日の訪問者への案内などにより取り組み	1
一般公開の重要性 ¹⁾	1
合 計	10

¹⁾ 学校教育を超えて社会全般に森林について理解してもらうために重要との意見。

「情報の公開・PR」(3件)など市民の側にたった整備を求める意見も多かった。森林インストラクター会からは訪問者の「受け入れ体制について」(3件)や「柔軟なボランティアの配置」(2件)、公開コースの選定方法(「公開期間・区間の拡大」(2件)にカウント)など、市民ボランティアが参加した一般公開の運営体制に関する意見が多かった。

一方、演習林職員の今回の企画に対する意見(表-24)には事前調査にも見られた事務的な意見の他、新たな意見として「市民・演習林職員双方により結果が残った」(2件)、「今後もボランティアに期待」(1件)など市民ボランティア参加に対するプラス評価や期待、「公開期間・区間

表-23 演習林に対する意見・要望
(市民ボランティア・事後アンケート問8より)

	みどりのボランティア	森林インストラクター会	合計
ボランティアの機会拡大 ¹⁾	6	0	6
公開期間・区間の拡大	2	2	4
一般公開の継続・促進	3	1	4
情報の公開・PR	3	1	4
トイレがほしい	4	0	4
自然観察のガイド	3	1	4
ボランティア研修の充実・改善 ²⁾	3	0	3
柔軟なボランティアの配置など	1	2	3
公開内容のアイデア ³⁾	3	0	3
受け入れ体制について ⁴⁾	0	3	3
特になし	3	0	3
規則の強化・徹底	1	1	2
一般公開のテーマが必要 ⁵⁾	2	0	2
演習林での研究に期待	1	1	2
今後も協力したい	0	2	2
名札を増やす	1	0	1
交通アクセスを良くする	1	0	1
合計	37	14	51

¹⁾ 今回参加して演習林への理解が深まったのでより多くの人にボランティア参加の機会を望む・事前事後の話し合いを行い、ボランティアに分担させる役割をもっと拡げてもよい・植林や下草刈り作業などを通じ演習林への理解を深めたいなどの意見。

²⁾ 事前研修の際、植物の観察もできるとありがたい・一日かけ全コースを歩き自信を持って説明したい・公開前1回の研修だけでなく日常的な活動を通じて演習林を理解した方が役に立つとの意見。

³⁾ 大学の研究機関なので研究に関する展示やテーマがあるとよい(例えば実験機器の模型など)・里との協力で季節のもの(たけのこ、柿など)を売ってみては等の意見。

⁴⁾ 公開日1日目と2日目とで変更があったようにその場にあった柔軟な受け入れ体制などの意見。

⁵⁾ 演習林の取り組みに関して何かテーマを決めアピールした方がよいのではという意見。

表-24 今回の企画全体を通しての意見
(演習林職員・事後アンケート問8より)

公開期間・区間の拡大	2
市民・演習林職員双方によい結果が残った	2
春の一般公開を続けたい	1
今後もボランティアに期待	1
マスコミへの統一された情報提供が必要	1
事故への対応が必要	1
当日のミーティングがあってもよい	1
学生にもボランティアを	1
特になし	1
合計	11

の拡大」(2件),「春の一般公開を続けたい」(1件)という今後の一般公開に前向きな意見が見られた。

V. 謝 辞

本研究におけるアンケート調査に快くご協力下さったすべての方々へ心から感謝申し上げます。

また、ボランティア団体の概要に関して千葉県緑化推進委員会事業推進課の飯田英徳氏、千葉県インストラクター会代表の町原 亨氏に追加的な説明を頂いた。この場を借りて両氏に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 1) 秋廣敬恵・山本博一・斉藤陽子：東京大学千葉演習林一般公開への一般市民ボランティアの参加について、52回日林関支論（投稿中）。

付 録 資 料

1. 市民ボランティアに対する事前アンケートの質問票

東京大学千葉演習林一般公開でのボランティアに関するアンケート調査

1. 千葉演習林の一般公開についておうかがいします

問 1 千葉演習林が一般公開されていることを知っていましたか。

①はい ②いいえ

問 2 問 1 で①を選ばれた方にお聞きします。どのような形で千葉演習林の一般公開を知りましたか。

問 3 演習林が一般公開されることについてどう思いますか

2. 一般公開へのボランティア参加についておうかがいします

問 4 今回ボランティアに参加しようと思った理由を教えてください

問 5 演習林では公開中の一般利用者への案内などをボランティアの方々をお願いをしています。その作業内容についてどのように思いますか

問 6 一般の方々がボランティアとして演習林の一般公開に参加することをどう思いますか

3. 今回の企画をした千葉演習林についておうかがいします

問7 一般公開へ向けた演習林の事前の取り組みについてどう思いますか

問8 演習林に対して何かご意見や要望がありましたらお願いします

4. 最後におうかがいします

問9 どちらにお住まいですか (市・町・村)

問10 恐れ入りますが、あなたの年齢と性別に該当するものを○で囲んでください

①性別：男・女

②年齢：0～19歳 20～29歳 30～39歳 40～49歳
50～59歳 60～69歳 70～79歳 80歳～

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

東京大学大学院農学生命科学研究科
科学の森教育研究センター

なお、このアンケート用紙は公開日当日の朝に山本が集めますので、お手数ですが、ご持参ください。

2. 演習林職員に対する事前アンケートの質問票

東京大学千葉演習林一般公開でのボランティアに関するアンケート調査

1. 千葉演習林の一般公開についておうかがいします

問1 千葉演習林が一般公開されていることについてどう思いますか

2. 一般公開へのボランティア参加についておうかがいします

問2 演習林では公開中の一般利用者への案内などをボランティアの方々をお願いをしています。その作業内容についてどのように思いますか

問3 演習林職員以外の方々がボランティアとして演習林公開に参加することをどう思いますか

3. 今回の企画をした千葉演習林についておうかがいします

問4 一般公開へ向けた演習林の事前の取り組みについてどう思いますか

問5 今回の企画全体を通して何かご意見がありましたらお願いします

4. 最後におうかがいします

問6 どちらにお住まいですか (市・町・村)

問7 恐れ入りますが、あなたの年齢と性別に該当するものを○で囲んでください

①性別：男・女

②年齢：0～19歳 20～29歳 30～39歳 40～49歳
50～59歳 60～69歳 70～79歳 80歳～

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

東京大学大学院農学生命科学研究科
科学の森教育研究センター

なお、このアンケート用紙は4/21(金)に集めますので、よろしくお願ひ申しあげます。

3. 市民ボランティアに対する事後アンケートの質問票

東京大学千葉演習林一般公開でのボランティアに関するアンケート調査

1. 演習林の一般公開についておうかがいします

問1 今回の千葉演習林一般公開はよかったですか

①はい ②いいえ ③わからない

問2 その理由は何ですか

2. 一般公開へのボランティア参加についておうかがいします

問3 一般利用者への案内などを体験してみて、どのように思いましたか。

問4 実際に体験してみて、演習林職員以外の方々がボランティアとして演習林公開に参加することをどう思いますか

問5 次の機会にも参加したいと思いますか

①はい ②いいえ ③わからない

問6 その理由は何ですか

3. 今回の企画をした千葉演習林についておうかがいします

問7 実際に参加してみて、一般公開に対する演習林の取り組みについてどう思いましたか

問8 演習林に対して何かご意見や要望がありましたらお願いします

4. 最後におうかがいします

問9 どちらにお住まいですか (市・町・村)

問10 恐れ入りますが、あなたの年齢と性別に該当するものを○で囲んでください

①性別：男・女

②年齢：0～19歳 20～29歳 30～39歳 40～49歳
50～59歳 60～69歳 70～79歳 80歳～

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

東京大学大学院農学生命科学研究科
科学の森教育研究センター

お手数ですが、このアンケート用紙を同封した返信用の封筒に入れて4月30日をめどにご返送下さい。よろしくお願ひ申しあげます。

4. 演習林職員に対する事後アンケートの質問票

東京大学千葉演習林一般公開でのボランティアに関するアンケート調査

1. 演習林の一般公開についておうかがいします

問1 今回の千葉演習林一般公開はよかったですと思いますか

- ①はい ②いいえ ③わからない

問2 その理由は何ですか

2. 一般公開へのボランティア参加についておうかがいします

問3 ボランティアの方々による一般利用者への案内などをみて、
どのように思いましたか

問4 今回実施してみて、演習林職員以外の方々がボランティアと
して演習林の一般公開に参加することをどう思いますか

問5 次の一般公開でもボランティア参加を推進したいと思います
か

- ①はい ②いいえ ③わからない

問6 その理由は何ですか

3. 今回の企画をした千葉演習林についておうかがいします

問7 実施してみて、一般公開に対する演習林の取り組みについて
どう思いましたか

問8 今回の企画全体を通して何かご意見がありましたらお願いし
ます

4. 最後におうかがいします

問9 どちらにお住まいですか (市・町・村)

問10 恐れ入りますが、あなたの年齢と性別に該当するものを○で
囲んでください

①性別：男・女

②年齢：0～19歳 20～29歳 30～39歳 40～49歳
50～59歳 60～69歳 70～79歳 80歳～

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

東京大学大学院農学生命科学研究科
科学の森教育研究センター

**お手数ですが、このアンケート用紙を同封した返信用の封筒によっ
て4月30日をめどにお送りくださいますようお願い申し上げます**